



地域おこし協力隊活動日誌

ベテランの操船技術を学ぶ

vol.74

5月21日に熊野川で三重県ジャパンエコトラック推進協議会主催の川下りイベントが開催されました。カヌーやカヤック、SUPなどで、紀和町小船から紀宝町浅里までの川を下るこのイベントで、熊野川体感塾では警護のための舟を出し、自分は船頭として舵を取りました。

普段乗客を案内している河口付近とは異なり、上流に向かうと川幅が狭い箇所、流れの速い瀬などがあり、慣れない操船に苦労しました。大きく波を打っている瀬を下る際、波に乗ってしまうと、舟が大きく上下して危険であり、加えて船体へ大きなダメージを与えてしまいます。

事前の下見や当日には、谷上塾長や体感塾の船頭・莊司さんに、瀬での舵の取り方、取るべきコースなどを教えていただき、何とか最後まで操船を務めることができましたが、瀬では大きく揺れ、浅い箇所では船外機のプロペラを川底に当ててしまうなど、改善すべき点がたくさんありました。言葉だけで理解するのは難しいですが、川の深さや流れを読み、瞬時に適切な判断をするベテ

ランの技を、少しでも盗み自分の技術を磨いていきたいと思いました。

現在は、熊野川体感塾は北桧杖から下流で遊覧体験を実施していますが、以前は上流の浅里を拠点に遊覧をしていたと聞きました。上流の方は景観も良く、乗客の方も喜んでくれると思いますので、今後のためにも上流を安全に行き来できるよう経験を重ねていきたいと思います。



警護を行う様子

紀宝警察署 からのお知らせ

夏の交通安全県民運動を実施

交通ルールを守り、みんなで交通事故をゼロにしましょう。

【実施期間】7月11日（火）～20日（木）

【運動の重点】

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
②横断歩道における歩行者優先の徹底
③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
④自転車等の安全利用の推進
⑤飲酒運転等の根絶



紀宝警察署 (☎33-0110)

ごみは資源 のコーナー

ペットボトル処分のポイント

ペットボトルは、①キャップを外す、②中を洗って乾かす、③ラベルを剥がすのポイントを確認し、出してください。

集まったペットボトルは津市にある「西日本ペットボトルMRセンター」に運ばれ、再度ペットボトルへと生まれ変わっています。

ポイント♪

ペットボトルのラベルは剥がして「プラスチック製容器包装」で出してください。



みのおのびさんカズヤスくん

役場環境衛生課 (☎33-0338)

浄化槽が浸水してしまったら
浄化槽は台風や大雨などで浸水しても、水が引けば浄化槽内の水位も下がり浄化槽本体は通常どおり使用することが出来ます。しかし、ブローアー（浄化槽内に空気を送る装置）の故障が発生する場合があります。町営浄化槽がこのような被害にあったときは、ブローアーの修繕や交換などは、町で対応します。また、大量の土砂流入などにより、浄化槽本体を入れ替えなければならない場合には、町が国の補助事業などを活用して、浄化槽の設置替え工事を行います。今後、くみ取り式便所や単独浄化槽からの設置替えを希望される方は、補助金（下表参照）があります。

町営浄化槽の

ここがポイント!!



環境衛生課 榎原栄佐

浸水でブローアーが壊れると

ブローアーが故障すると、浄化槽内の微生物に酸素が届かなくなってしまい、正常に汚水処理ができなくなります。浸水したときなどは、ブローアーが正常に動いているか確認が必要です。

町営浄化槽は、浄化槽の維持管理を行うだけでなく、ブローアーなどが故障した場合の修繕にも対応しています。

補助金を活用して、町管理の浄化槽設置をご検討ください。
詳しくは、役場環境衛生課 (☎33-0338) までお問い合わせください。

表：浄化槽設置替え補助金の額

Table with 2 columns: 補助金の内容, 補助金の額. Rows include 浄化槽までの配管費用 (上限6万円) and 単独浄化槽の撤去費用 (上限9万円).

Eco

シリーズ ストップ地球温暖化 その156

家庭でできる温暖化対策

～できることから始めよう～

今月のテーマ シャワー

シャワーでは、お湯をつい流しっぱなしにしがちですが、1分間使うと約12リットルのお湯が流れており、意外と多くの水を使っています。さらに、家族4人が4分ずつ使うと、浴槽1杯分とほぼ同じ量になります。そのため、シャワーを使うときは、流したままにせず、髪や体を洗うときはこまめに止めましょう。また、お湯が出るまでの水はバケツなどに入れておき、掃除などに利用してみてください。
詳しくは、役場環境衛生課 (☎33-0338) までお問い合わせください。

意外とた出力!



シャワーを流したままにしない
45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合

年間削減効果 CO2 28.7 kg
年間節約金額 約3,210円

【出典：経済産業省資源エネルギー庁／家庭向け省エネ関連情報】